

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社グループの主たる事業である電気事業では、電灯分野において、需要数の減少等があったものの、電力分野において、契約電力が増加したことなどから、小売販売電力量は、**272 億 kWh** と前年同期に比べて **2.6%** 増加しました。

収入面では、電気事業において、地帯間・他社販売電力量の減少により地帯間・他社販売電力料が減少したものの、小売販売電力量の増加などにより電灯電力料収入が増加したことに加え、ガス・その他エネルギー事業や生活・ビジネスソリューション事業の売上高が増加したことなどから、売上高は **785,838 百万円** と、前年同期に比べて **50,301 百万円** の増加 (+6.8%) となりました。

一方、支出面では、経営効率化により徹底した諸経費の節減に努めたことに加え、減価償却方法の変更などにより減価償却費が減少したものの、出水率の低下等により燃料費が増加したことや、ガス・その他エネルギー事業や生活・ビジネスソリューション事業の売上の増加に伴い費用が増加したことなどから、営業費用は **726,763 百万円** と、前年同期に比べて **29,776 百万円** の増加 (+4.3%) となりました。

この結果、当四半期の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

【連結経営成績】

(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期(累計)	2020年3月期 第1四半期(累計)	増 減	
売上高	735,536	785,838	50,301	6.8%
営業利益	38,549	59,074	20,524	53.2%
経常利益	38,412	62,727	24,315	63.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	26,699	45,575	18,875	70.7%

【総販売電力量（小売、地帯間・他社計）】

(単位：百万 kWh)

	2019年3月期 第1四半期(累計)	2020年3月期 第1四半期(累計)	前年同期比 (%)
総販売電力量（小売、地帯間・他社計）	29,366	28,988	98.7
小売販売電力量	26,505	27,194	102.6
電 灯	8,018	7,872	98.2
電 力	18,486	19,322	104.5
地帯間・他社販売電力量	2,862	1,794	62.7

(注) 1. 四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある。

2. 期末時点において未確定であるインバランス電力量は含めていない。

(2) 連結財政状態に関する説明

(単位：百万円)

科 目	2019年3月期末	2020年3月期 第1四半期末	増 減	
資 産	7,257,363	7,213,271	△44,092	△0.6%
負 債	5,724,417	5,660,822	△63,595	△1.1%
(うち有利子負債)	(3,853,472)	(3,961,458)	(107,985)	(2.8%)
純 資 産	1,532,946	1,552,448	19,502	1.3%

自己資本比率	20.9%	21.3%	0.4%
--------	-------	-------	------

(単位：百万円)

	2019年3月期 第1四半期(累計)	2020年3月期 第1四半期(累計)	増 減	
設 備 投 資 額	75,061	84,401	9,339	12.4%
減 価 償 却 費	81,437	67,586	△13,851	△17.0%

資産は、設備投資額が減価償却費を上回ったものの、現金及び預金などの流動資産が減少したことなどから、前年度末に比べて44,092百万円減少(△0.6%)し、7,213,271百万円となりました。

負債は、工事代金や税金の支払いなどに対応するために有利子負債が増加したものの、支払手形及び買掛金などの流動負債が減少したことなどから、前年度末に比べて63,595百万円減少(△1.1%)し、5,660,822百万円となりました。

純資産は、期末配当金の支払いなどによる減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益(45,575百万円)を計上したことなどから、前年度末に比べて19,502百万円増加(+1.3%)し、1,552,448百万円となりました。

これらの結果、当四半期末の自己資本比率は、前年度末に比べて0.4%増加し、21.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想(連結・個別)は、2019年4月25日に公表しました数値から修正は行っていません。